

岡崎嘉平太記念館



Vol. 37

だより

日中国交正常化50周年を迎える

遺志を受け継ぐ ー岡崎嘉平太氏と周恩来総理のふるさと 其後の交流ー

今年令和4年(2022)は、昭和47年(1972)9月29日に、中国・北京において、田中角栄・周恩来両国首相が「日中共同声明」に署名し、日中の国交が正常化してから50周年の記念すべき年にあたります。

互いの信頼と友情を深め、日中国交回復と友好に生涯を尽くした岡崎嘉平太氏(1897年~1989年)の故郷である吉備中央町と周恩来総理(1898年~1976年)の故郷である中国江蘇省淮安市は、二人の遺志を受け継ぎ、平成5年(1993)に友好交流に関する意向書を交換します。その後も訪問団を派遣し合い、友好と親善を深め、平成11年(1999)には友好提携協定を締結します。これと相前後して平成8年(1996)には未来を担う子ども達による訪中を開始し、平成10年(1998)からは相互訪問交流となり、中学生達の訪中は今では12回を数えます。訪問先ではホームステイを行い、文化や生活を体験しています。

この交流の始まりは、岡崎氏と親交のあった中日友好協会副会長 肖向前氏が岡崎氏の墓参に訪れた際に、当時の竹竝賀陽町長に友好交流の提案をしたことに始まります。



日中国交正常化直前の9月23日、周総理が岡崎氏達LT・MT貿易に尽力した人々を招いて小宴を主催した際の写真。前列中央が周総理、その左隣が岡崎氏。



吉備中央町と中国江蘇省淮安市が友好提携都市となった経緯

(岡崎氏のご長男 岡崎彬氏の手記より抜粋)

肖向前(しょうこうぜん)先生は、日中国交正常化以前、覚書貿易よりはるか前に来日され、中日国交正常化に向けて下準備をされた方です。

1972年日中国交正常化が実現し、日中が蜜月とも呼ばれるほどのよい国交関係を樹立し、周恩来総理の御言葉でもあった中日が共に協力して、先ずはアジアを強くして世界の列強と肩を並べるといふ大目標に向かい動き始めた頃の事でした。肖先生が父・嘉平太への墓参を望まれ、賀陽町(現吉備中央町)においでになりました。当時の町長は竹竝 堅さんでした。先生は墓参をすませ町内を見学した後、「賀陽町と周総理の御生誕地淮安市を姉妹都市にすべきだ。」とおっしゃいました。しかし、当時は雨後の筍の如く数多くの姉妹都市が生まれ、トラブルも発生しはじめており、中国政府は新しい姉妹都市、或は友好都市の締結に後ろ向きになっていました。

また、中国政府の許可がおけるには様々な要件がありました。例えば、人口が大体同じである、主産業、地形、歴史的価値が似通っているなど。しかし、賀陽町と淮安市は、これらの要件を満たすものが見あたりませんでした。人口は淮安市が120万人、賀陽町は8千人とその違いが大きすぎました。産業では、平地の淮安市と山岳地の賀陽町に余り共通点はありませんでした。

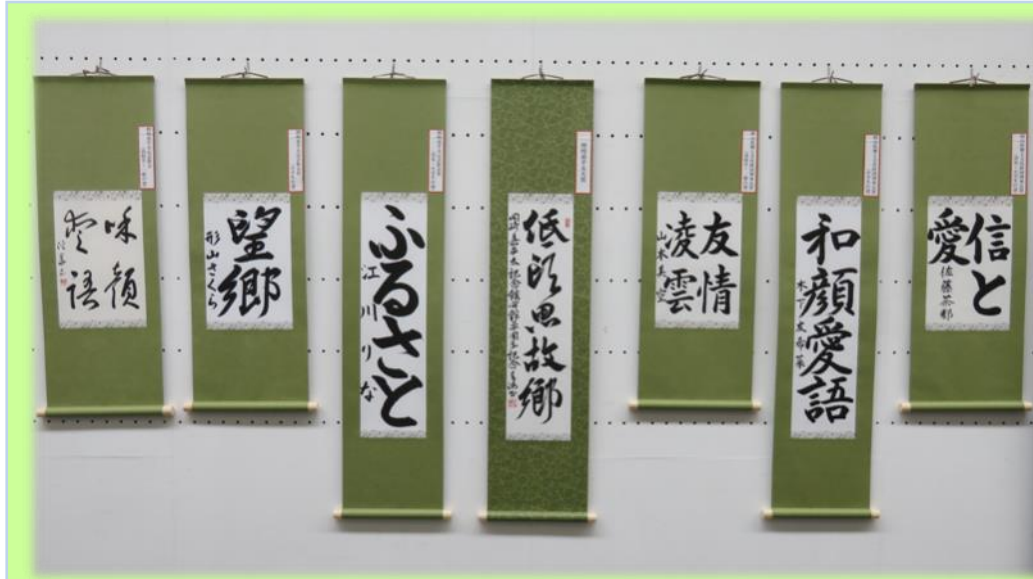
私は、肖先生に、姉妹都市締結をするのは無理ではないかと説明しましたが、肖先生は、『周恩来と岡崎嘉平太の生誕地ということより強固な姉妹都市関係が他に存在するであろうか。必ず締結して見せる。』とおっしゃっていました。そして、それから半年ほどで友好都市締結が許可されました。例外的な事で、肖向前先生の大変な御努力の賜物でした。この折角の賜物を無駄にしてはならないと模索し、若者の交流が考え出されました。当時、日本人の海外渡航は自由にできましたが、中国人は仕事の上の必要性から特例的に認められる以外に海外渡航は不可能でした。但し海外からの招待があれば審査のうえ認められる場合もあり、淮安市の中学生を賀陽町へ招待することにしました。そして淮安の学生をHomestayさせ、接触の機会がより厚くなるよう考えました。また、淮安でも賀陽町の中学生をHomestayで受け入れることになり、これには大変驚きました。当時の中国は戦争中の防諜制度が残っていて、外国人が中国人家庭に泊まる事はあり得ない事でした。

これらの過程を経て、現在淮安市と吉備中央町の相互訪問は完全に定着し、日本の中学校ではおそらく淮安市と吉備中央町のような相互交流は他に例が無いと思います。友好都市締結も、日本人が中国でHomestayできることも大変画期的な企画でした。

2012年12月16日

岡崎嘉平太記念館開館20周年記念「岡崎嘉平太の心 書道展」開催

岡崎嘉平太氏は、企業経営、日中友好につとめる中、数多くの書を遺しています。岡崎嘉平太記念館開館20周年にあたり、岡崎氏が遺した言葉を自分なりに書くことで、岡崎氏が書に託した心、生き方、業績などを偲んでいただくとともに、現代に生きる皆さんへの貴重なメッセージを感じていただけたらの思いで広く募集したところ、岡山県内外から937点もの応募がありました。同記念館が委嘱した審査員による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい37点の入賞作品が決まりました。令和4年3月5日(土)から4月7日(木)まで同記念館企画展示室及び嘉あちゃんの部屋で、4月26日(火)から5月1日(日)まで岡山県天神山文化プラザ第二展示室大室にて、ご応募いただいた全作品を展示いたしました。



右から

【岡山県郷土文化財団理事長賞】

・幼児・小学生の部

佐藤 茶都 (5年)

・中学生の部

木下 友希菜 (3年)

・高校生・一般の部

山本 美空 (1年)

【岡崎嘉平太大賞】

井上 青海 (70歳)

【岡崎嘉平太記念館長賞】

・幼児・小学生の部

江川 りな (4年)

・中学生の部

形山 さくら (3年)

・高校生・一般の部

日名 恭子 (75歳)

右上から下へ

【入選】

・幼児・小学生の部

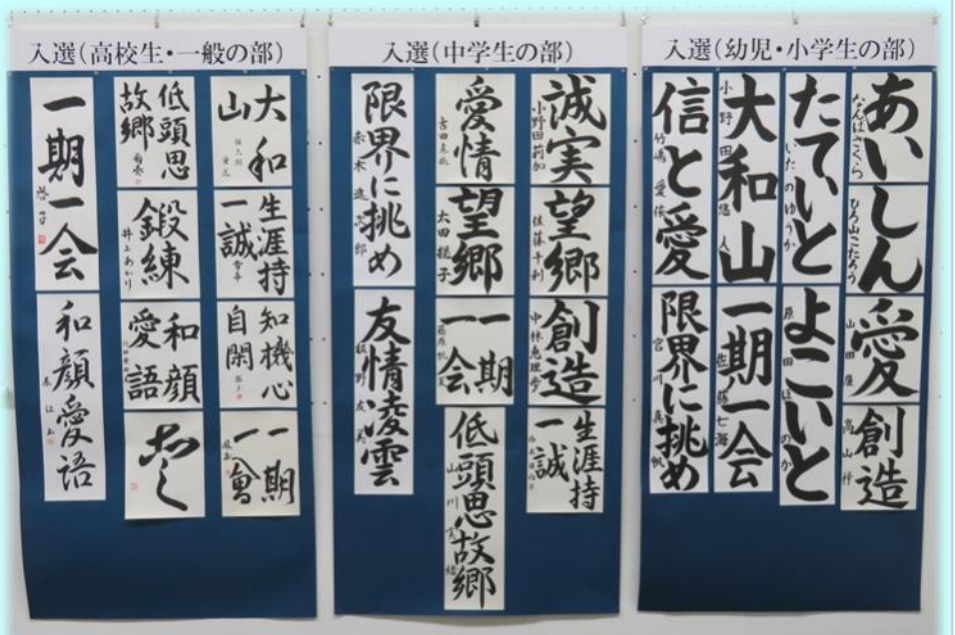
難波 咲良 (1年) 廣山 心太郎 (1年)
山田 廉 (4年) 高山 梓 (6年)
板野 由佳 (1年) 原田 帆乃香 (2年)
小野田 悠人 (4年) 佐藤 七海 (6年)
竹嶋 愛依 (6年) 宮川 真帆 (6年)

・中学生の部

小野田 莉加 (1年) 佐藤 千利 (1年)
中林 恵理歩 (2年) 西本 日向子 (2年)
吉田 真依 (2年) 太田 椋子 (3年)
藤原 帆夏 (3年) 山川 実緒 (1年)
赤木 進次郎 (3年) 板野 友美 (3年)

・高校生・一般の部

佐久間 愛花 (2年) 鳥越 千夏 (2年)
山田 紋歌 (2年) 北田 圭祐 (3年)
松浦 侑香子 (3年) 井上 あかり (4年)
河田 亜由美 (43歳) 岸本 貴美子 (74歳)
河田 啓子 (76歳) 綱島 辰江 (81歳)



岡崎嘉平太大賞 講評

よく練れた線で、字配り、岡崎氏の言葉の良さ、思いが字に出ている。特に、添え書きも堂に入ったもので感心した。良い作品である。



第16回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

岡崎嘉平太氏が愛した豊かな自然、心なごむ風景の写真を通じ、岡山の良さを再認識する機会にしたいとお願いを込めて始めた写真展も16回目を数え、今回も岡山県内外から187点ものご応募をいただきました。岡山県美術展覧会(県展)審査員の長瀬正己氏と日本画家の森山知己氏、(公財)岡山県郷土文化財団常務理事、岡崎嘉平太記念館館長による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい16点の入賞作品が決まりました。令和4年4月16日(土)から6月19日(日)まで同記念館企画展示室で、7月12日(火)から17日(日)まで岡山県天神山文化プラザ第一展示室小室にて、ご応募いただいた全作品を展示いたしました。

入賞作品



【最優秀賞】 福島 一郎
「イルミネーションと花火のコラボ」



【優秀賞】 浅野 みのり
「竹林の朝」



【優秀賞】 河口 毅
「晴れの日」

【審査員特別賞】

神崎 由子 最相 政実
嶋田 律子

【入賞】

秋房 晃太 安藤 通明
陰山 亜紀子 芝 次昇
新川 洋子 中浦 和弘
長尾 裕子 長濱 康通
中山 通子 横田 俊司

(敬称略・順不同)

審査員の先生方からいただいた、最優秀賞、優秀賞に選出された作品についての講評をご紹介します。

- 全体** コロナ禍にあり、遠方へ出掛けられないことが、身近な地域の魅力を再発見する良い切っ掛けとなったのではないかと、何度も足を運ぶなど、じっくりと取り組んだ様子が窺える写真が多く、その結果質の向上にも繋がっている。
- 最優秀賞** 大きな花火大会であれば、様々な場面が比較的撮りやすいであろうが、吉備中央町で、冬のイルミネーション点灯式の後にささやかに打ち上げられたサプライズの花火を、用紙いっぱいに合わせて、力強く爽やかな作品に仕上げている。画面下の観客や会場の様子もほどよく作品の雰囲気盛り上げている。空間内の開花量の適切さ、また個々の花火がきちんと本来の色に近く発色している点、そしてイルミネーションの光の競演と、絵作りが素晴らしく、よくまとめられている。
- 優秀賞(浅野)** 清々しい写真。朝陽が昇るのを、ずっと待っていたのであろうか。光が差す瞬間を思い切って捉えている。撮影者の力量を感じる。
- 優秀賞(河口)** 紅葉が見事に色づいた神社の境内を、七五三の参拝に訪れた晴れ着姿の可愛い子ども達が走り回っている様子をコンパクトに上手くまとめている。昔を思い出し懐かしくなるような光景に、心がほっとする。



審査風景

令和4年3月19日(土)
長瀬正己先生・森山知己先生
岡山県郷土文化財団常務理事
岡崎嘉平太記念館長



表彰式風景 令和4年5月14(土)



岡崎嘉平太記念館会場



岡山県天神山文化プラザ会場

「岡山県自然保護センター」にて開催

第16回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展 入賞作品展

令和4年10月1日(土)～31日(月) センター棟 展示室前 廊下

第14回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和4年2月5日(土)から20日(日)まで開催。吉備中央町内全小学校10校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。小学校最後の思い出に制作した備前焼や扇子、セロテープカッターなど力作63点が並びました。企画展示室にて



岡山県記録資料館 令和3年度企画展 連携展示

「子どもへのまなざしー地域の中の育み」

ふる里を愛した嘉平太さん

ー嘉平太さんの子どもころー

令和4年2月5日(土)から28日(月)まで開催。岡崎嘉平太氏の子どもの頃、いわゆる吉備中央町で暮らした1900年前後の様子や、ふる里を愛した嘉平太氏の資料等を紹介しました。嘉あちゃんの部屋にて



来館してくれました

吉備中央町内の下竹荘小学校3年生と大和小学校3・6年生と吉備高原のびのび小学校3年生の児童の皆さんや先生方が授業の一環で来館くださいました。学芸員による紙芝居や館内説明、クイズ等で学習した後、ANAオリジナルの紙飛行機を作って、きびプラザの広場で飛ばしました。当館では岡崎氏について子供達にしっかりと伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。



令和4年7月18日(月)中華人民共和国駐大阪総領事館の総領事が同行職員3名と来館くださいました。常設展示室を見学した後、企画展示室で吉備中央町長と懇談されました。

第1回 岡崎嘉平太記念館運営協議会

令和4年4月1日、地元自治体、関係機関・団体、岡崎氏と関わりがあった県内企業等から10名が構成員となる岡崎嘉平太記念館運営協議会を立ち上げ、7月5日(火)今年度第1回目となる運営協議会を、きびプラザ内第一会議室において開催しました。皆様からの幅広いご意見を取り入れて、開かれた記念館を目指します。



講演しました 令和4年3月20日(日)当館の初岡綾子学芸員が学術団体日本振興会にて講演しました。約50名の参加がありました。



3年ぶりに開催しました

令和4年度 夏休み企画 絵手紙をかく会

令和4年7月29日(金)に絵手紙をかく会を開催。吉備高原児童クラブの皆さんを中心に約60人が参加しました。大和公民館「絵手紙クラブ」の先生方に教わりながら作品を仕上げました。



令和4年度 わくわく科学塾

令和4年6月30日(木)「わくわく科学ランド」の藤本忠男先生にご協力をいただき、初めて屋外での科学塾を開催。町内全小学校10校から小学生が集まり、ドラム缶つぶしやどでかシャボン玉、プリプリスライム等、様々な遊びや科学体験をしました。

これからの催し

参加者募集中！ 詳しくは記念館までお問合せください。

岡崎嘉平太と日中国交正常化—その後—に続く交流の足跡

2022年9月22日(木)～12月25日(日)

岡山県 岡崎市 加賀郡吉備中央町吉川4860-6

岡崎嘉平太記念館 企画展示室

開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/毎週火曜日、11月4日(金)、11月24日(木)

主 展/岡崎嘉平太記念館

方/岡山県 後5市 岡山市 倉敷市 玉野市 新見市 吉備中央町 和気町

入館無料

〒716-1241 加賀郡吉備中央町吉川4860-6 TEL 0866-56-9033

https://www.okazaki-kaheita.jp

参加者募集中！

10月8日(土)開催

申込締切 9月22日(木) 必着

40名 最少参加人数35名 参加費 6,500円

行程 岡崎嘉平太記念館(7:20集合) ⇒ 岡山駅運動公園口(8:20集合) ⇒ 兵庫県立都市公園岡子公園内孫文記念館(移情閣)を研究員の解説を受けながら見学 ⇒ 2階へは建設の足跡階段を4の段上ります ⇒ 昼食(自由席) ⇒ 高崎記念館見学 ⇒ 高崎記念館見学(19:10開演予定) ⇒ 岡崎嘉平太記念館(20:00閉館予定)

申込方法

お申し込みは電話にてお申し込みいただけます。

以下の手続きを岡崎嘉平太記念館 歩きの道を通る旅 までお任せください。

参加者名簿の ①郵便振替 ②現金 ③口座 ④クレジットカード

②③④は現金集金場所(岡崎嘉平太記念館) ⇒ 岡山駅運動公園口

参加資格: ①対象年齢: 小学生以上の方を対象としますが、小・中学生のみでの参加はできません

その他: 雨天決行につきましては、当館にお知らせいたします。また、お申し込み後、天候不慮により中止となる場合がございます。中止の場合は返金はいたしません。お申し込みの際は必ずお申し込みの旨をお知らせください。

主催: 申込、問合せ

岡崎嘉平太記念館

開催時間 9:00～17:00

火曜日休館

〒716-1241

岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ

TEL 0866-56-9033

FAX 0866-56-9066

E-mail: okmh@okazaki-kaheita.jp

第21回 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 講演会

11/12(土) 13:30～16:00

吉備高原リゾートホテル 3階大ホール

講師: 小長 啓一氏

入場無料

7 | 1 | 6 | 1 | 2 | 4 | 1

岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6

岡崎嘉平太記念館

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える

第21回講演会 参加申し込み担当 宛